

第52号

http://www.nisshiren.com/

あ〜す・れっく

＝日資連界報＝

日本再生資源事業協同組合連合会
〒101-0061 千代田区三崎町2-21-1
TEL 03(3263)9101
発行人 上岡克己
編集人 森岡伸志
印刷 株式会社資源新報社

がれき撤去、イベント応援など 青年部が復興支援ボランティア

日資連青年部は去る9月17日、かねてより計画していた東日本大震災の被災地復興支援ボランティア活動を実施いたしましたのでご報告いたします。

3月11日の東日本大震災発生以降、日資連をはじめ各地の地域組合により支援物資、義援金等の支援活動が活発に行われている状況において日資連青年部としてどのような活動が出来るのかを話し合い、被災地に向いでの復興支援をしようという結論に達しました。今回の復興支援ボランティア活動を計画するにあたり日資連青年部の根

根青年部長には大変努力していただきました。埼玉協青年部は関根青年部長を中心に5月に宮城県女川町においてガレキ撤去のボランティアを実施しており、その経験を基に計画段階から積極的に参加していただきました。

当日は早朝6時に民間のボランティア受入施設「だじょうぶ屋」近くのコンビニ駐車場で集合し、参加者31名全員で開始ミーティングを行いました。その後、牡鹿半島に向かう班と出島という離島に向かう班に別れ作業を開始いたしました。牡鹿半島での作業は主にガレキの撤去が中心となり、重機が入って行けないような傾斜のきつい斜面に津波で押し流された農業用の機械や家財用品が散乱しており、それらを人力で撤去していく作業となりました。足元の不安定な場所で大変危険を伴う作業もありましたが、日頃の業務で培った体力と経験を活かし重量物を崖下から引き上げるなどの成果をあげました。

出島には「だじょうぶ屋」のスタッフと共に島民の漁師の方の漁船に乗って向かいました。出島は震災の影響で電気も水道も未だに復旧しておらずほとんどの住民は本土の避難所で生活していました。

出島ではこの日、「だじょうぶ屋」の企画により島の小学校で運動会とお祭りを予定しており、我々はそのお手伝いを頼まれました。午前中は校庭の草むしりやグラウンド整理を中心に運動会の準備をしました。午後になると島民の方が本土から集まり、子供たちと共に運動会を行いました。

島民チームとボランティアチーム対抗による綱引きやリレーは大変に盛り上がり、大きな掛け声と笑いの絶えない運動会になりました。

資格要件の強化など 『日資連認定制度』改定について

『日資連認定制度』改定について

日資連認定制度は、発足当初から一貫して「日資連基本要綱」に基づいて、再生資源の回収に携わる事業者の信頼性を認定することにより、その社会的地位を高めることを目的に運用されてきました。

そして、適正な再生資源の流通経路の定義では、「排出者との契約関係のもとで再生資源を回収し、排出者に信頼性を保証することの出来る流通経路で適正、確実に再生資源化すること」と定義されています。

今般、同認定制度の一部が以下の通り改訂されました。

(改定その1)
①リサイクル化証明書K票の保管業務を一次審査代行組合に移管。
②審査料の5000円値上げ。
③「再生資源物の持ち去りに関する事項」を「資格要件・誓約書他に明記」。

繰り返しとなりますが、リサイクル化証明書を使用した際には、K票をリサイクル化証明書を購入した組合に確実に返還して下さい。

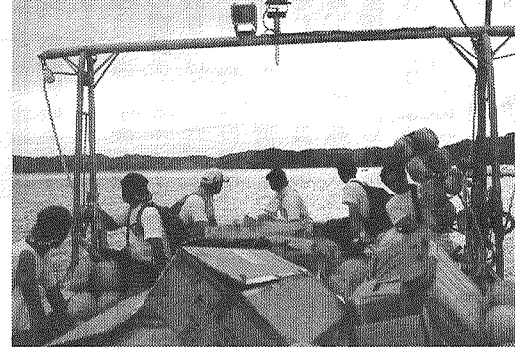
(改定その2)
認定事業者専用車両ステッカー(縦9cm×横2.8cm・下段に見本)を販売致します。多くの皆様のご利用をお待ちしております。

購入方法他につきましては事務局までお問い合わせください。

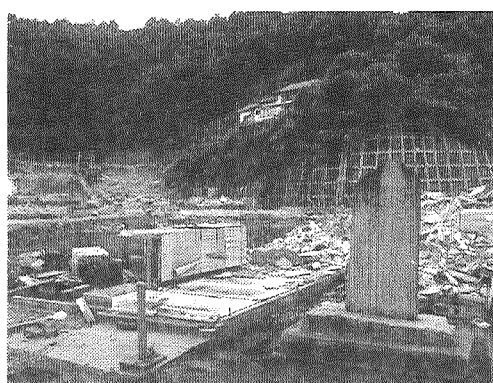
(改定その3)
平成23年9月26日付け杉並区長名で公表された「資源物の収集・運搬禁止令違反者名簿」を受けて、今後、類似の公表において社名・氏名等が公になった認定事業者に対し毅然たる処分を行う為の改定を、顧問弁護士と現在、協議中であります。詳細につきましては、内容が確定次第、改めてご案内申し上げます。

再資源化認定事業者
認定番号
経済産業省認可団体
日本再生資源事業協同組合連合会

JRC
Japan Recycle Co-op.

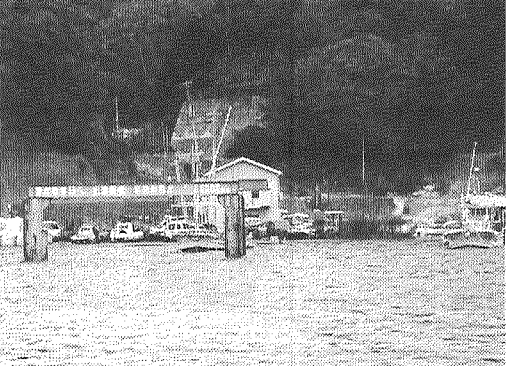
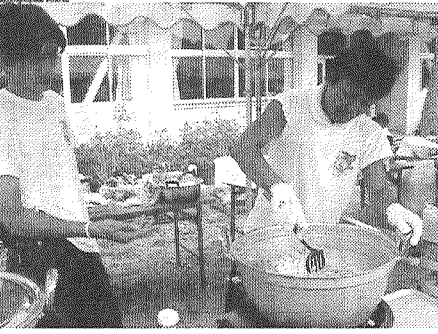


(下) 離島(出島)の港の様子
乗船場が地盤沈下により水没している
(左) 船で離島へ移動中



石碑を発見。『昭和8年3月3日大震災被災記念。大地震の後には津波がくる。地震があつたら津波の用心』と書かれている。昭和8年3月3日にこの地で昭和三陸地震という大地震があった。

お祭りの段取り
焼きそば・おでん・焼き鳥・焼きうどん等を調理



夕方には両班共に作業を終えて集合し、終了ミーティングを行いました。幸い怪我、事故は一件もなく予定通りにボランティア活動を終えることが出来ました。

今回のボランティア活動を通じ自然災害の大きな爪痕を目の当たりにしました。昨日までであったりまえたものが一瞬で失うという悲劇が現実になったという経験を改めて感じました。我々には小さなお手伝いしか出来ないかもしれませんが、様々な形で可能な限り継続して支援していくことが本当に重要だと痛感しました。

被災地の一日も早い復興を、心よりお祈りいたします。



(左) 日資連青年部長(武井大輔)から学校代表者へ支援物資(石油ストーブ)贈呈



(下) お祭りの様子
学校の生徒とボランティアチームで競争



群資連

チャリバザー盛況に
環境森林フェスティバルに参加

10月2日、前橋の産業技術センターにおいて第13回ぐんま環境森林フェスティバルが例年のように開催された。県内の環境に係る各企業・団体が展示や実演等による啓蒙・宣伝活動をする場とも言え、わかり易いのだろうか。

警備員がいるのでは・・・と探した結果「侵入者アリ」の警報で警備会社出动の一幕も演出。朝から話には事欠かず、楽しい一日の始まり・・・と、今だから言えることだ。

群資連では例年のごとく森岡専務理事を長として実行委員会を立ち上げ、参加体制を作った。開催場所も前年どおりというところで、群資連内の準備は順調に整ったのだが、本部の体制に若干の間違いがあったようで、伝わってくる本部会議の様子は少々不安を抱かせるものであった。そして、当日朝にその不安は形となって現れた。

来年以降の課題として、県、実施本部はイベント内容をいかに充実させ、来訪者を増やすかが宿題であろう。また群資連と



群資連バザーのもよう

ハンセン病支援に寄付
ぐんまフェスのバザー売上金

10月26日群馬県庁17階171会議室において、去る10月2日に開催された「ぐんま環境森林フェスティバル」におけるバザー売上金9万1569円を「ハンセン病訴訟を支援し、ともに生きる会」へお渡しする贈呈式が、群馬県環境森林部環境政策課の立会いのもと催された。

これまで「ハンセン病を支援し、ともに生きる会」の会長さんの日程が合わずお会いできずにいたが、今回羽部会長以下、副会長の永井さん、事務局の吉幸さん、会計の西川さん、そして尼僧の吉田一蓮さんの5人の方々が参列された。

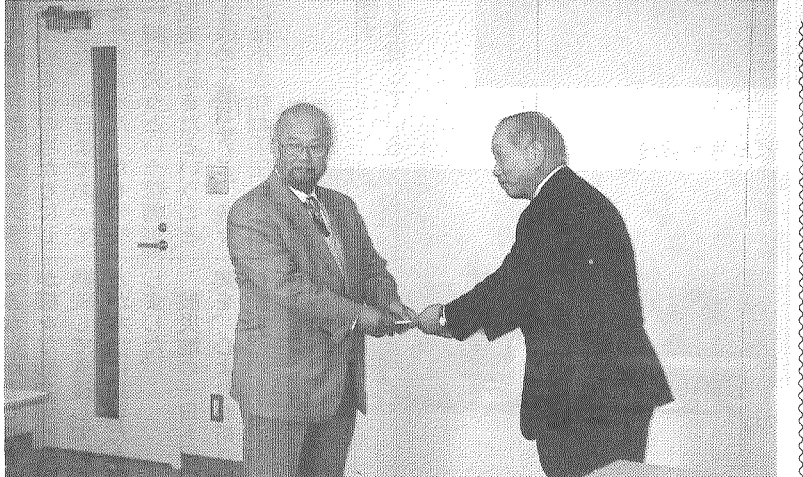


群資連青年部主催のゲームの様子(缶吊り)

「財政健全化」等協議
11月度定例理事会を開催

11月19日(土)、本部会議室で11月度の理事会が開催された。以下概要。1、財政立て直しの件。経済産業省指導に沿って3年間の財政健全化を目指す。最終的には協賛金に頼らず、公平な賦課金制度で運営を行える組織とするために会員にお願いする。

- 4、地区からの報告提言
(1) 千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会
(2) 神奈川県資源回収商業協同組合
(3) 東京都資源回収事業協同組合
(4) 認定審査委員会
(5) 青年部



寄付金贈呈式のもよう

- (1) 調査研究委員会
(2) 3月17日(土) 理事を対象とした研修会実施予定
(3) 業務委員会
(4) 認定審査委員会
(5) 青年部

紺野正博新執行部がスタート 被災遺児支援基金の創設を発表 ―東北資連第60回青森大会を開催―

東北資連(東北六県再生資源組合連合会・組合員427名)の第60回青森大会が9月11日、青森市内「ホテル青森」で開催されました。

通常総会で新しい会長に福島県再生資源商工組合理事長の紺野正博さんが



上岡克己日資連会長

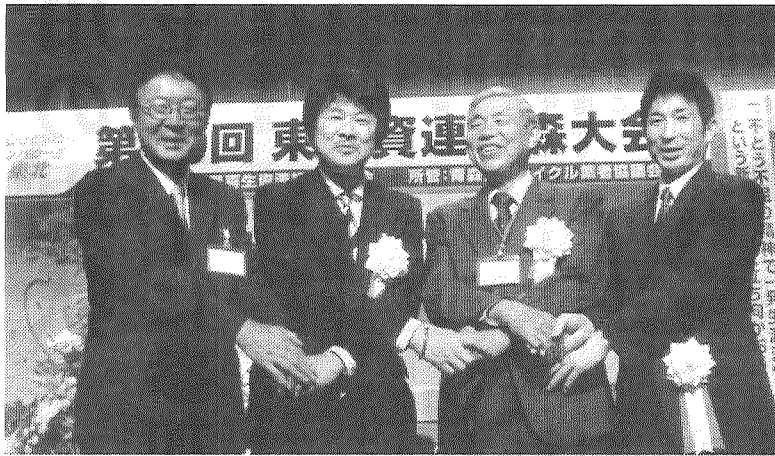


大会の様子

が選任されました。54歳という歴代会長の中では最年少の会長が誕生しました。東北資連は毎年各県の理事長が交代で会長職を担う決まりになっています。若さあふれる業界リードを期待したいと思います。

継続的な復興支援を

前任の田中義信会長(青森県リサイクル業者協議会会長)は3月11日の東日本大震災という未曾有の出来事の中で6月の滝沢誠章さん(青森



新旧執行部。左から渡辺弘一新専務理事、紺野正博新会長、田中義信前会長、渡辺宏前専務理事

地域社会の復興が重要

紺野正博新会長は「日資連からさらに500万円という大きな義援金をいただいたが、これは我々ではなく、我々が拠って立つべき地域社会の復興に役立てたい」と語り、具体的にはこの基礎基金をベースに「震災遺児支援基金」を創設し、東北資連の各組合員に呼びかけて、継続的な地域支援を行うことを表明しました。



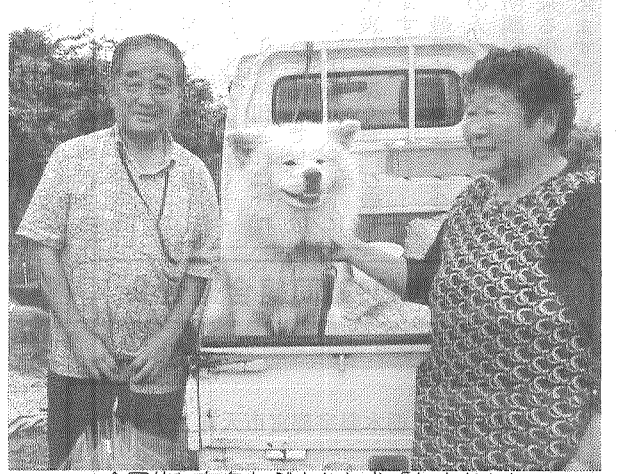
伊奈かつべい氏の講演

「県」ともに見事にその職責を全うされたことを高く評価したいと思います。大会では三村申吾青森県知事、鹿内博青森市長、蝦名文昭青森県中小企業団体中央会長、上岡克己日本再生資源事業協同組合連合会会長の各氏から祝辞をいただきました。酒巻弘三スチール缶

関係団体との連携強め

関東資源回収組合連合会(星本昭次会長)の第58回通常総会を開催

長期にわたる景気悪化で再生資源全般に発生量の減少傾向が進むなか、新興国の旺盛な需要に牽引され昨年度も鉄スクラップ650万トン、古紙400万トン(10暦年実績)をそれぞれ輸出した。一方で、古紙では発生減に加えて依然として持ち去りが後を絶たず、市中からの集荷環境を悪化させている。また、輸出市場と国内市場との二重価格問題といった。解決を要する課題が山積している。とりわけ国内経済の情勢については今後も予断を許さない状況が続くものと見られ、こうした厳しい環境を乗り切るためにも経営体質の強化と革新的な改革が求められることから、連合会では新年度の事業方針として、情報収集・提供機能の強化と、新たな人材の育成を強力に進めていくこと



全国的に有名なぶさかわ犬「わさお」と



第58回通常総会
関東資源回収組合連合会

段ボールのリサイクルは次世代の環境作り!!

循環型社会に最適な包装資材として今後ともリサイクルの推進・向上に努めます。

段ボールリサイクル協議会

リサイクルマークの普及促進中!!

資料問い合わせは事務局へ
詳細については段ボールリサイクル協議会のホームページ
(http://www.danrikyo.jp)で閲覧できます

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館
(全国段ボール工業組合連合会内)
TEL03-3248-4853 FAX03-5550-2101

また、日資連事業への協力に加え、関東製紙原料直納商組との連携事業についても組織をあげて一層の協力体制の維持に努めることとしている。

